

**高松市営墓地の整備及び
管理についての方針
(案)**

令和 年 月

高松市 市民やすらぎ課

目 次

1 方針策定の趣旨

- (1) 方針策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 市営墓地の経緯・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2 市営墓地等の現況と課題

- (1) 市営墓地の所在地・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- (2) 現在の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

3 墓地に対する市民意識

- (1) 市営墓地の貸付及び返還・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (2) 墓地に関する市民意識調査の主な回答・・・・・・・・・・ 9
- (3) 今後の墓地需要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

4 今後の整備及び管理の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

5 資料

墓地に関する市民意識調査結果報告書

1 方針策定の趣旨

(1) 方針策定の趣旨

本市では、これまで高松市墓地整備計画（第1期：平成21年度から28年度、第2期：平成29年度から令和3年度）に基づき、新規墓所の造成工事のほか、無縁墳墓移転改葬工事等の墓地整備を実施するなど、市営墓地の管理運営に取り組むとともに、市民の墓地需要に応じてきた。

しかしながら、本格的な少子・超高齢社会の到来、核家族化の進展などに伴い、墓地を取り巻く環境は大きく変化しており、市民の墓地に対するニーズも多様化してきている。

このような中、社会情勢や市民意識の変化に対応した墓地行政及び市営墓地の良好な環境保持を目的に、これまでの高松市墓地整備計画や、令和3年度に実施した墓地に関する市民意識調査結果を踏まえ、高松市営墓地の整備及び管理についての方針を定めるものである。

なお、本方針については、社会情勢の変化等による墓地環境や墓地に対する市民ニーズを見極めながら、随時、見直すこととする。

※【墓地・墓所】 一般的には、お墓が設けられる区域を「墓地」、個々にお墓を建てる場所を「墓所」という。

※【改葬】 墓所等に埋蔵されている遺骨を、他の墓所や納骨堂等へ移すこと。

(2) 市営墓地の経緯

市営墓地には、戦前から存在していた墓地のほか、戦後に都市計画事業のため移転整備した墓地や、市民の墓地需要に応えるため、新たに整備した墓地がある。その中には、拡張造成により、極めて過密な集団墓地を形成している所もある。

また、新たに整備した平和公園は、本市初の都市計画墓園として、市内三谷町と池田町にまたがる丘陵地帯に整備したもので、令和4年11月現在で、6,387区画の墓所を整備している。さらに、平成17年度には、ロッカー式の納骨壇に20年間納骨した後に、地下の埋蔵室に合葬する形態の合葬式墓地を整備し、令和4年11月現在で、1体用450壇、2体用420壇の納骨壇を設けている。

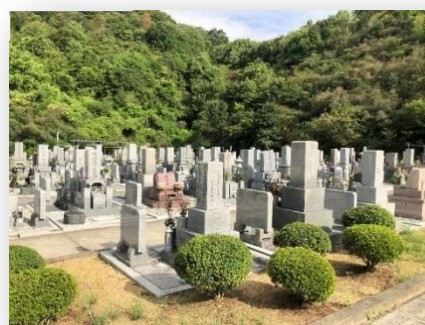
また、平成17年度の市町合併に伴い、牟礼町、庵治町、香川町、国分寺町の旧町営墓地を市営墓地に加え、現在、30か所となっている。



宮脇町姥ヶ池墓地



合葬式墓地の納骨壇

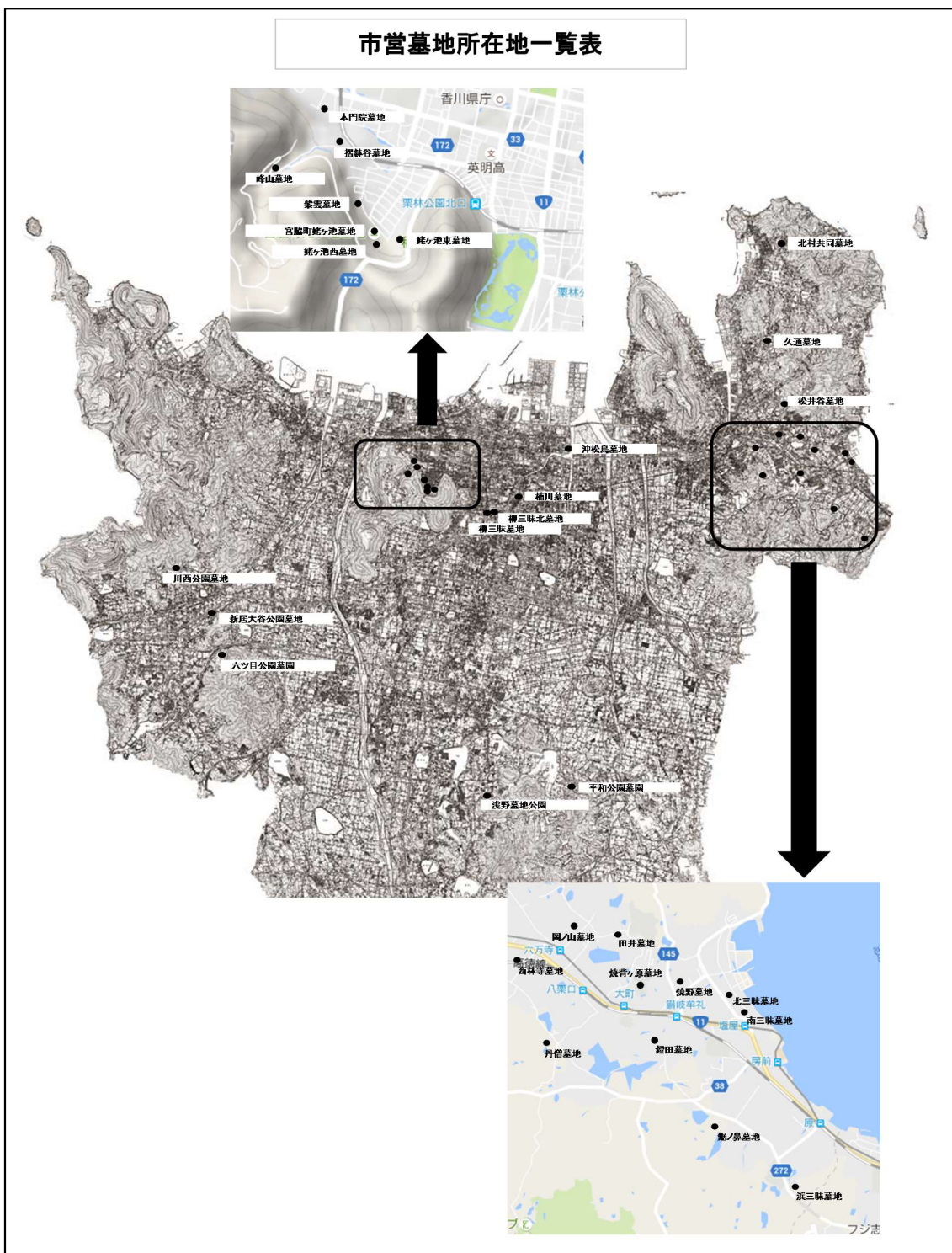


六ツ目公園(国分寺町)

2 市営墓地の現況と課題

(1) 市営墓地の所在地

令和4年11月現在における市営墓地は、墓地28、墓地公園2の合計30か所である。



市営墓地一覧表

名 称	所 在
宮脇町姥ヶ池墓地	宮脇町二丁目996番地
姥ヶ池西墓地	〃 998番地
姥ヶ池東墓地	〃 10番56号
摺鉢谷墓地	〃 37番16号
紫雲墓地	〃 994番地25
峰山墓地	西宝町二丁目844番地43
本門院墓地	〃 4番4号
柳三昧北墓地	桜町二丁目17番3号
柳三昧墓地	〃 15番37号
楠川墓地	上福岡町2003番地7
沖松島墓地	福岡町四丁目35番20号
平和公園	三谷町及び池田町地内
焼野墓地	牟礼町大町626番地
北三昧墓地	〃 985番地
南三昧墓地	〃 1005番地
焼背ヶ原墓地	〃 2420番地
鏡田墓地	〃 2442番地1
丹僧墓地	〃 2560番地
浜三昧墓地	牟礼町原210番地6
鋸ノ鼻墓地	〃 1515番地
西林寺墓地	牟礼町牟礼917番地2
岡ノ山墓地	〃 1307番地
田井墓地	〃 1587番地9
松井谷墓地	〃 1701番地1
久通墓地	〃 3442番地14
北村共同墓地	庵治町1443番地
浅野墓地公園	香川町浅野2845番地
新居大谷公園墓地	国分寺町新居223番地1
川西公園墓地	〃 3845番地1
六ツ目公園	国分寺町福家地内

計 30 か所

(2) 現在の課題

ア 空き墓所の増加

合葬式墓地を除く従来からの墓地（個々の区画に墓石を設置し、供養する形態の墓地）については、近年、返還数が貸出数を大きく上回り、空き墓所が増加していることから、墓地管理の経費に対し、墓地使用料等の収入が減少している。

イ 墓地の維持管理経費の増加

市営墓地は、平成17年度の市町合併により墓地数が大幅に増加するとともに、市内広範囲に及んでいる。このうち、大半の墓地は、設置から長い年月が経過しており、墓地の擁壁や階段等に経年劣化が見られ、これらに係る維持管理経費が増加している。

ウ 駐車場の確保

市営墓地のうち、戦前又は戦後すぐに整備した墓地は、駐車場が整備されていないところが多くあるが、市民意識調査結果においても、駐車場に対する要望が多く、駐車場の確保は大きな課題となっている。

エ 無縁墳墓の増加

無縁墳墓、いわゆる所有者や継承者が不明なお墓については、これまで、無縁墳墓移転改葬工事を実施することにより、解消に努めてきたが、今後も、少子化、家意識の希薄化により、増加することが予想される。無縁墳墓の放置は、墓地の荒廃を招くほか、環境衛生の面においても問題が生じるため、適切な対策が必要である。

オ 新たな形態の墓地への対応

本市では、従来の形態の墓地のほか、平和公園内に管理が不要な合葬式墓地を整備しているものの、先祖代々等の故人を特定できない遺骨の埋蔵には対応していない。

また、市民意識調査結果においても、先祖から受け継がれてきた従来のお墓以外に、管理や後継者を必要としない、散骨や樹木葬、合祀墓等の墓地を望む意見があることから、これらの課題に対応できる新たな形態の墓地整備についての検討が必要である。



合葬式墓地（平和公園）



改葬した無縁塔（姥ヶ池東墓地）

3 墓地に対する市民意識

(1) 市営墓地の貸付及び返還

市営墓地別貸付・返還数一覧

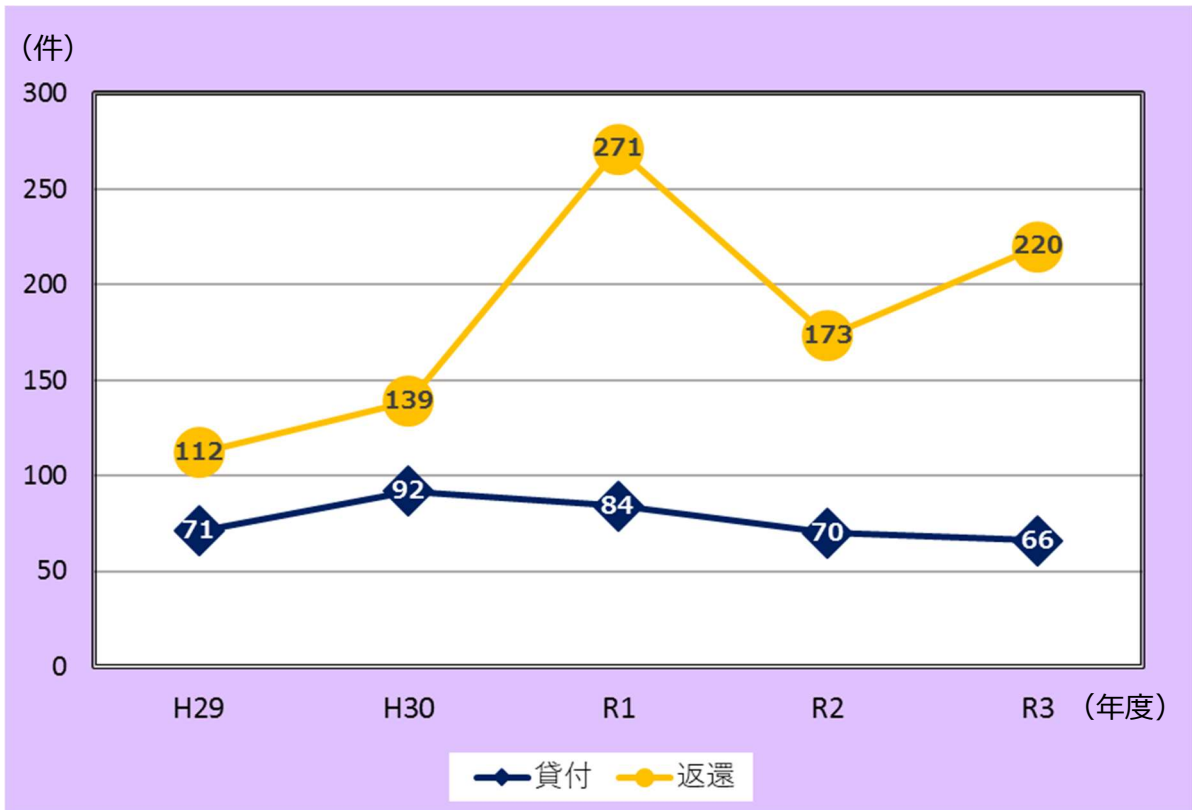
(単位：件)

名 称	貸 付						返 還					
	H29	H30	R1	R2	R3	計	H29	H30	R1	R2	R3	計
宮脇町姥ヶ池墓地	0	0	0	0	0	0	10	14	28	6	19	77
姥ヶ池西墓地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
姥ヶ池東墓地	10	8	3	1	0	22	17	5	21	7	15	65
摺鉢谷墓地	0	12	10	14	10	46	4	10	21	10	3	48
紫雲墓地	0	0	0	1	0	1	14	9	40	8	15	86
峰山墓地	0	0	4	1	2	7	20	10	35	13	21	99
本門院墓地	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	5
柳三昧北墓地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柳三昧墓地	0	0	0	0	0	0	1	0	3	1	0	5
楠川墓地	0	0	0	0	0	0	4	2	5	1	7	19
沖松島墓地	2	0	9	0	0	11	1	1	8	2	2	14
平和公園	43	48	36	33	31	191	28	40	59	53	49	229
焼野墓地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31
北三昧墓地	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	30	32
南三昧墓地	0	0	0	1	1	2	0	1	8	0	1	10
焼背ヶ原墓地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鍙田墓地	0	0	2	0	0	2	0	0	0	1	1	2
丹僧墓地	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
浜三昧墓地	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
鋸ノ鼻墓地	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
西林寺墓地	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
岡ノ山墓地	0	0	0	0	1	1	0	14	0	28	0	42
田井墓地	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
松井谷墓地	9	6	7	3	3	28	2	2	5	16	5	30
久通墓地	0	0	2	0	3	5	0	3	3	9	0	15
北村共同墓地	1	1	1	0	4	7	6	5	21	3	9	44
浅野墓地公園	1	0	3	1	1	6	1	1	1	0	3	6
新居大谷公園墓地	0	0	2	1	1	4	0	0	1	0	3	4
川西公園墓地	2	3	4	1	1	11	3	18	9	11	4	45
六ツ目公園	3	14	1	12	8	38	0	0	0	1	0	1
計	71	92	84	70	66	383	112	139	271	173	220	915

(単位：壇)

平和公園 合葬式墓地 (納骨壇)	1体用	29	22	39	32	28	150	5	2	8	4	4	23
	2体用	16	26	25	19	16	102	2	2	0	1	1	6

従来の墓所の貸付・返還数の推移



平成29年度から令和3年度の5年間の貸付数は、ほぼ横ばいとなっている一方で、返還数は増加傾向となっている。

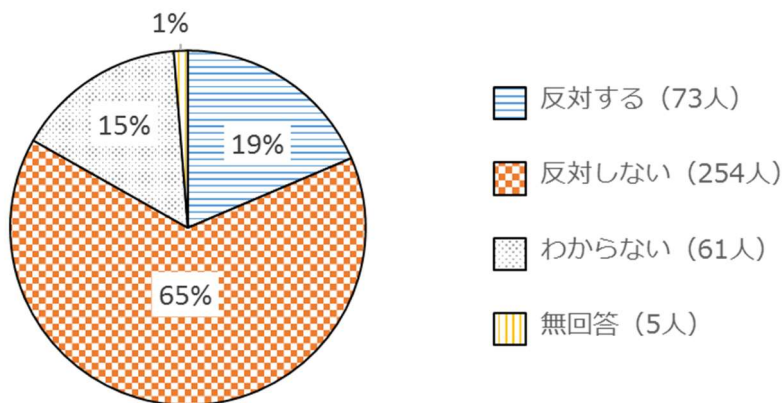
また、過去5年間は、どの年度も貸付数が返還数を下回る状況となっており、墓離れが進んでいる。

(2) 墓地に関する市民意識調査の主な回答

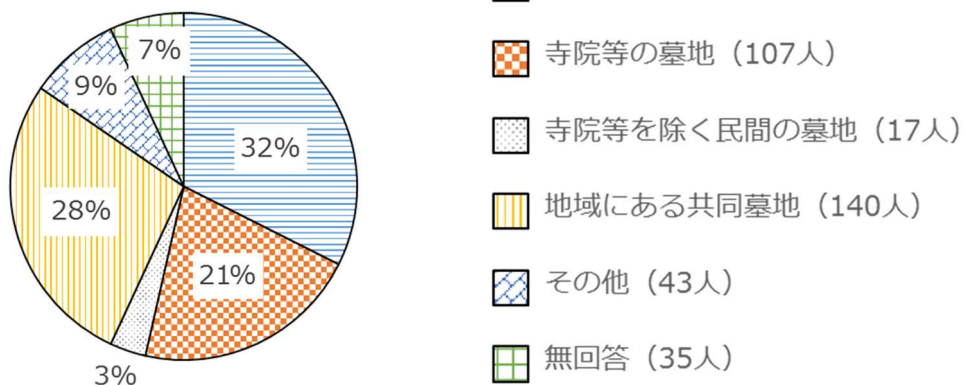
調 査 概 要	
調査期間	令和4年2月1日から28日
調査対象者	住民基本台帳から無作為抽出した満40歳以上の市民1,000人
回答状況	有効回答者数：506人（回収率：50.6%）
回答者の性別	男性：272人 女性：231人 答えたくない：3人
回答者の年齢	40代：86人 50代：82人 60代：108人 70歳以上：230人

**問：家族が遺骨を永代供養にするため、「墓じまいをする」と言った場合、
反対しますか。**

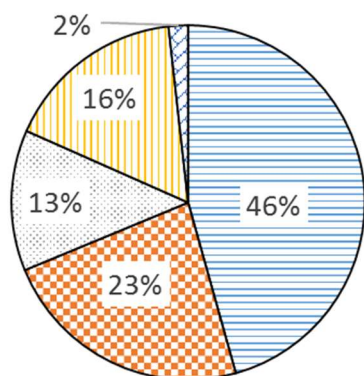
※永代供養：遺族や子孫に代わって、寺院などが遺骨を管理・供養すること。








問：今後、お墓を取得することとなった場合、どのようなところを希望しますか。



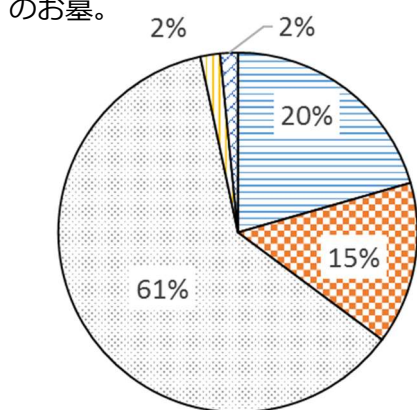
問：将来、お墓を守ってくれる人はいますか。








-  子どもか親類が守ってくれると思う (231人)
-  子ども等はあるが、守ってくれるとは思わない (117人)
-  子ども等がないため、守っていくことは困難である (65人)
-  わからない (84人)
-  無回答 (9人)

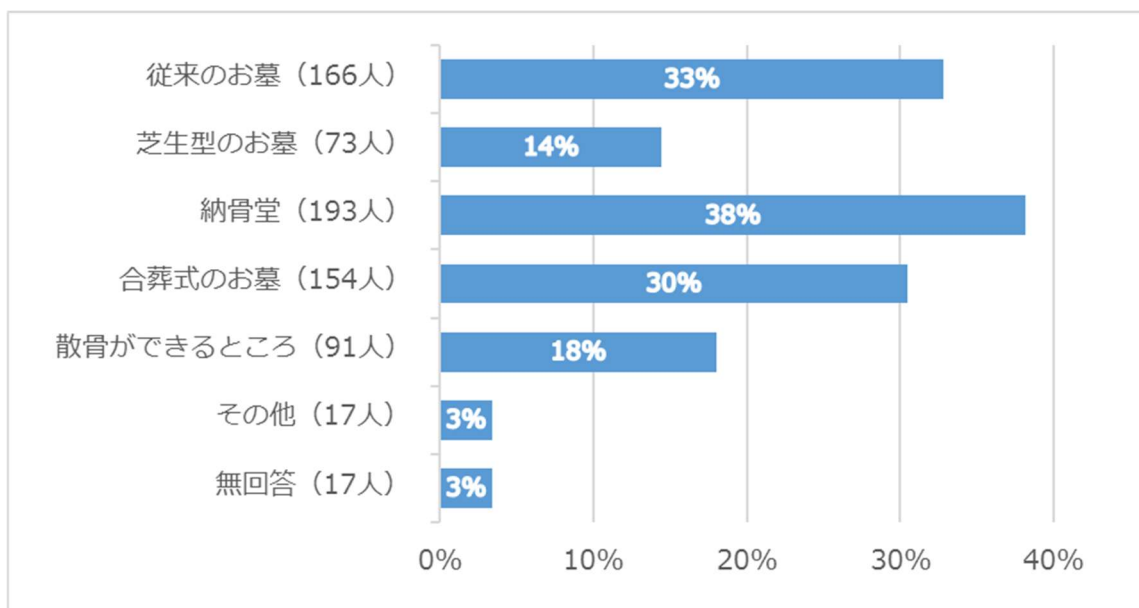
問：少子・超高齢化が進展する中、墓地の在り方は今後どのようなようになっていく（どのようになればよい）とお考えですか。

※合葬式のお墓とは、個人や家族でなく、多数の方の遺骨を隔てなく納骨する共同のお墓。



-  先祖を敬う気持ちを大切に、今のまま継続させていくのがよい (104人)
-  お墓の維持管理がいらぬ合葬式のお墓が主流となる (74人)
-  各家庭の状況に応じて選択すればよい (311人)
-  その他 (9人)
-  無回答 (8人)

問：高松市は、今後どのような形態の墓地等を整備すればよいと思いますか。（複数回答可）



(3) 今後の墓地需要

多様化する墓地需要を予測し、数値化することは難しいが、近年、従来の墓所については、返還数が貸出数を上回っていることから、市民の墓地需要に対応できると考える。

しかしながら、市民意識調査結果において、「墓じまいに反対しない」という意見が半数以上を占めるほか、将来のお墓の管理について、「後継者となる子ども等がない」、「いるが守ってくれるとは思わない」等を回答した人が半数以上を占めており、今後の管理に不安を抱いていることがうかがえる。

一方、新たに墓地を取得する場合は、公営墓地を希望する人の割合が最も大きい。

今後の墓地需要については、先祖代々のお墓を継承しながら守っていく従来のお墓を希望する人が一定数を占めると考えられるが、納骨堂や合葬式のお墓等、管理が不要な形態の墓地を希望する人の増加が予想される。

4 今後の整備及び管理の方針

本市においては、今後も引き続き、多様化する市民ニーズに対応し、適正な墓地行政及び良好な市営墓地の環境保持に努めるため、以下の方針に基づき、事業を進めるものとする。

新規墓所の整備について

- 平成29年度から令和3年度の5年間の墓所の新規貸付数及び返還数の推移から類推すると、既存の墓所数で、新規貸付への対応は可能であると考えられる。
- また、平和公園墓地内に設置している合葬式墓地については、焼骨を納骨壇に収蔵しているが、令和7年以降、収蔵から20年が経過する焼骨を順次、合葬室に埋蔵することで、納骨壇に空きができる。



当面は、新規の区画整備は行わず、現状維持を基本とし、今後の墓所の貸出状況や市民ニーズを踏まえた上で、管理を必要としない新たな形態の墓地整備の検討を進める。

墓参用駐車場について

駐車場の確保については、これまでも、一部の墓地において、墓参時期における臨時駐車場の開設等による対策を講じてきたが、今後は、墓地内の空きスペースや他の市有施設等の積極的な活用など、新たな方策を検討する。

墓地の管理について

墓地内の通路・擁壁等については、墓参環境の維持及び台風等の自然災害への防災対策のため、樹木の剪定、危険箇所の改修等を適切に実施する。

大規模修繕、改修が必要な箇所については、優先順位をつけ、計画的な改修等を実施するほか、墓地全体の管理業務委託の導入を検討する。

無縁墳墓の対応について

本市ホームページへの掲載や清掃手数料の納付通知等を利用し、お墓の承継、墓じまいによる改葬、墓所の返還等の手続きについて、広く周知し、お墓の無縁化の防止に努めるとともに、使用者が不明のお墓については、状況に応じて無縁改葬移転工事を実施する。

令和3年度墓地に関する市民意識調査結果報告書

高松市

市民やすらぎ課

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	
2	調査の対象者	
3	調査期間	
4	調査票の配布・回答方法	
5	回答状況	
6	調査内容	
II	調査票集計結果	2
III	資料 墓地に関する市民意識調査票	21

I 調査の概要

1 調査の目的

本市では、これまで2期にわたり高松市墓地整備計画を策定し、市民の墓所需要に応えてきたが、近年、少子・超高齢化社会や核家族化の進展に伴う家意識の希薄化、市民ニーズの変化などにより、墓地を取り巻く環境は、大きく変化している。

このようなことから、墓所需要に応じた市営墓地の適切な整備及び管理運営を進めるに当たり、前回の市民意識調査から5年が経過するため、改めて、墓地埋葬に関する市民意識調査を実施する。

2 調査の対象者

令和4年1月1日現在の住民基本台帳から無作為に抽出した満40歳以上の市民
1,000人

3 調査期間

令和4年2月1日から2月28日まで

4 調査票の配布・回答方法

対象者に調査票を郵送、回答は郵便及びインターネットによる。

5 回答状況

配布数(部)	回答方法	回答数(部)	回収率(%)
1,000	郵便	417	41.7
	インターネット	89	8.9
	合計	506	50.6

6 調査内容

(1) 回答者の属性について

「性別」「年代」など

(2) 墓地等に関する質問

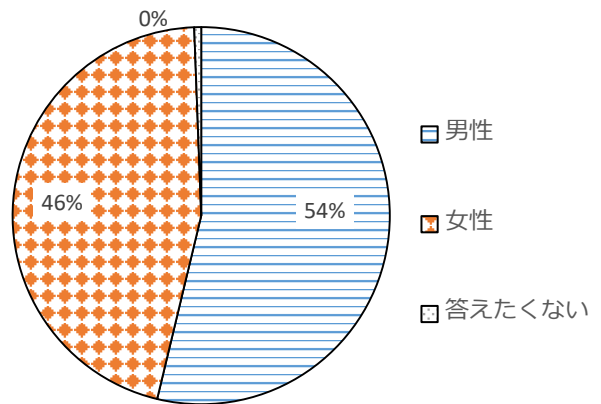
- ・お墓の所有状況、入手方法、墓地の経営主体
- ・墓参頻度、墓じまいに対する考え
- ・新たなお墓の取得の意向と理由等
- ・希望する墓地の経営主体、重視する項目、墓所までの距離・墓所面積
- ・将来的な承継、お墓の使用範囲、今後の墓地の在り方
- ・今後、市営墓地に望む墓地の形態、整備
- ・自由意見

II 調査票集計結果

(1) 回答者の属性について

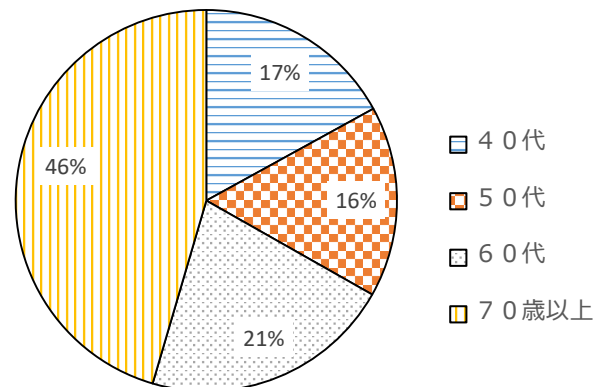
問1 あなたの性別はどちらですか。

項目	人数
男性	272
女性	231
答えたくない	3
総計	506



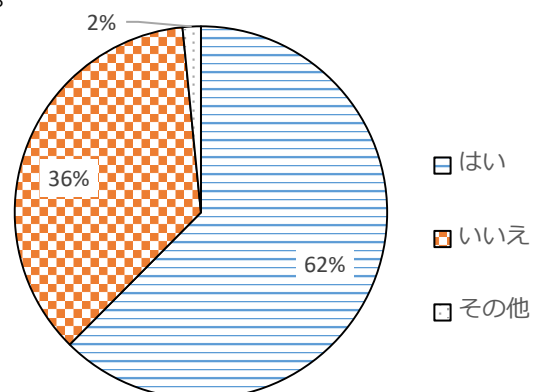
問2 あなたの年齢はおいくつですか。(令和4年2月1日現在)

項目	人数
40代	86
50代	82
60代	108
70歳以上	230
総計	506



問3 あなたは、先祖のお墓を守る立場にありますか。

項目	人数
はい	316
いいえ	182
その他	8
総計	506



「その他」の主な回答

・将来に守る立場になる(2人) ・わからない(1人)

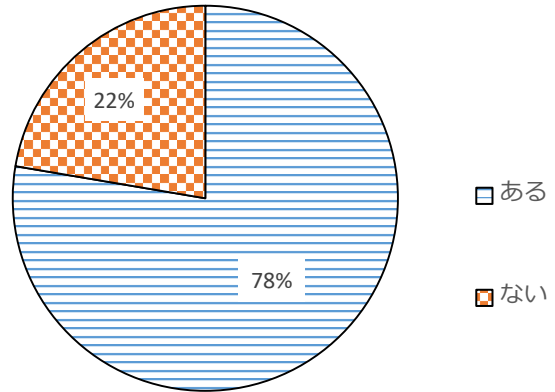
(2) 墓地等に関する質問

ア お墓の所有状況、入手方法、墓地の経営主体

問4 あなた又は御家族が管理しているお墓（納骨堂は除く）はありますか。

項目	人数
ある	393
ない	113
総計	506

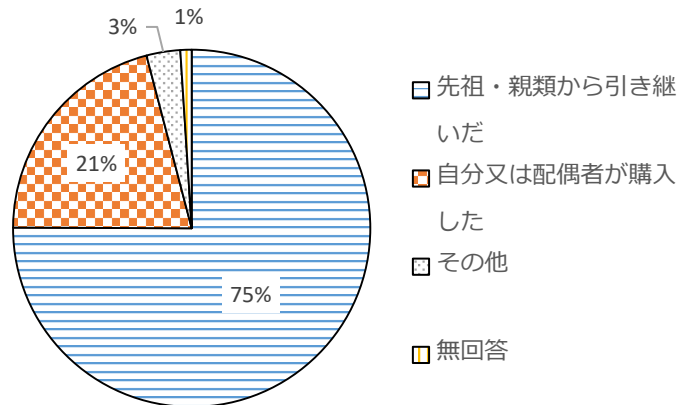
本人又は家族が管理しているお墓があると答えた人は、78%を占めている。



※問5～問8までは、問4で「ある」と答えた方にお聞きしました。

問5 そのお墓はどのようにして求められたものですか。

項目	人数
先祖・親類から引き継いだ	295
自分又は配偶者が購入した	82
その他	12
無回答	4
総計	393



「その他」の主な回答

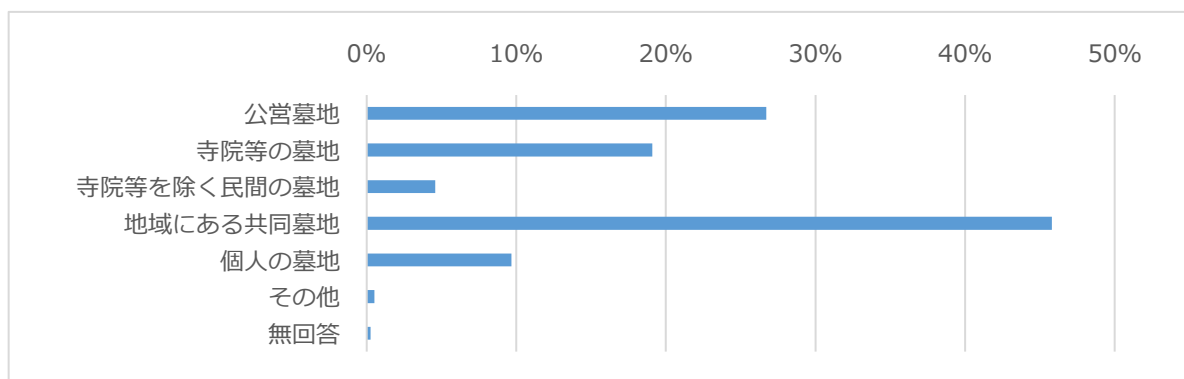
- ・親が購入した。(7人)
- ・子供が購入した。(1人)
- ・身内が購入した。(1人)

「先祖・親類から引き継いだ」が75%で最も多く、次いで「自分又は配偶者が購入した」が21%となっている。

問6 そのお墓はどのような墓地にありますか。(複数回答可)

項目	人数	割合
公営墓地	105	27%
寺院等の墓地	75	19%
寺院等を除く民間の墓地	18	5%
地域にある共同墓地	180	46%
個人の墓地	38	10%
その他	2	1%
無回答	1	0%
総計	419	

「その他」の回答
 ・よくわからない。(2人)
 回答者数(無回答含む) 393人

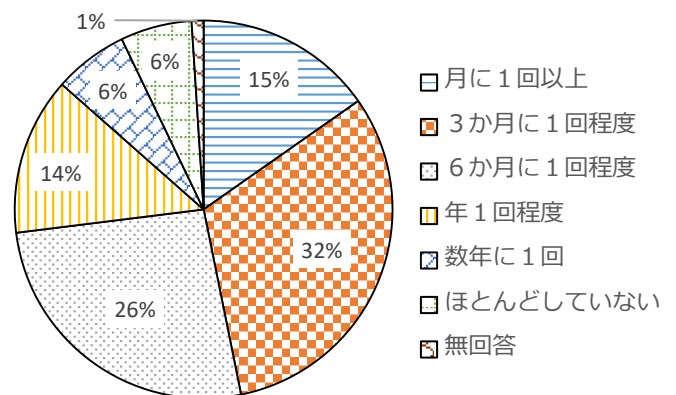


「地域にある共同墓地」と答えた人が46%で最も多く、次に「公営墓地」が27%、「寺院等の墓地」が19%となっている。

イ 墓参頻度、墓じまいに対する考え

問7 あなたは普段どの程度お墓参りをしますか。

項目	人数
月に1回以上	60
3か月に1回程度	124
6か月に1回程度	103
年1回程度	53
数年に1回	25
ほとんどしていない	24
無回答	4
総計	393



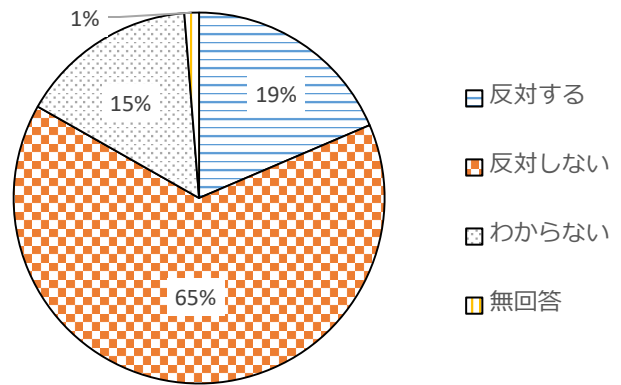
最も多いのが「3か月に1回程度」で32%、次に「6か月に1回程度」が26%、「月に1回以上」が15%、「年1回程度」が14%となっており、年1回以上墓参する人は全体の87%となっている。

また、「ほとんどしていない」と答えた人は6%であった。

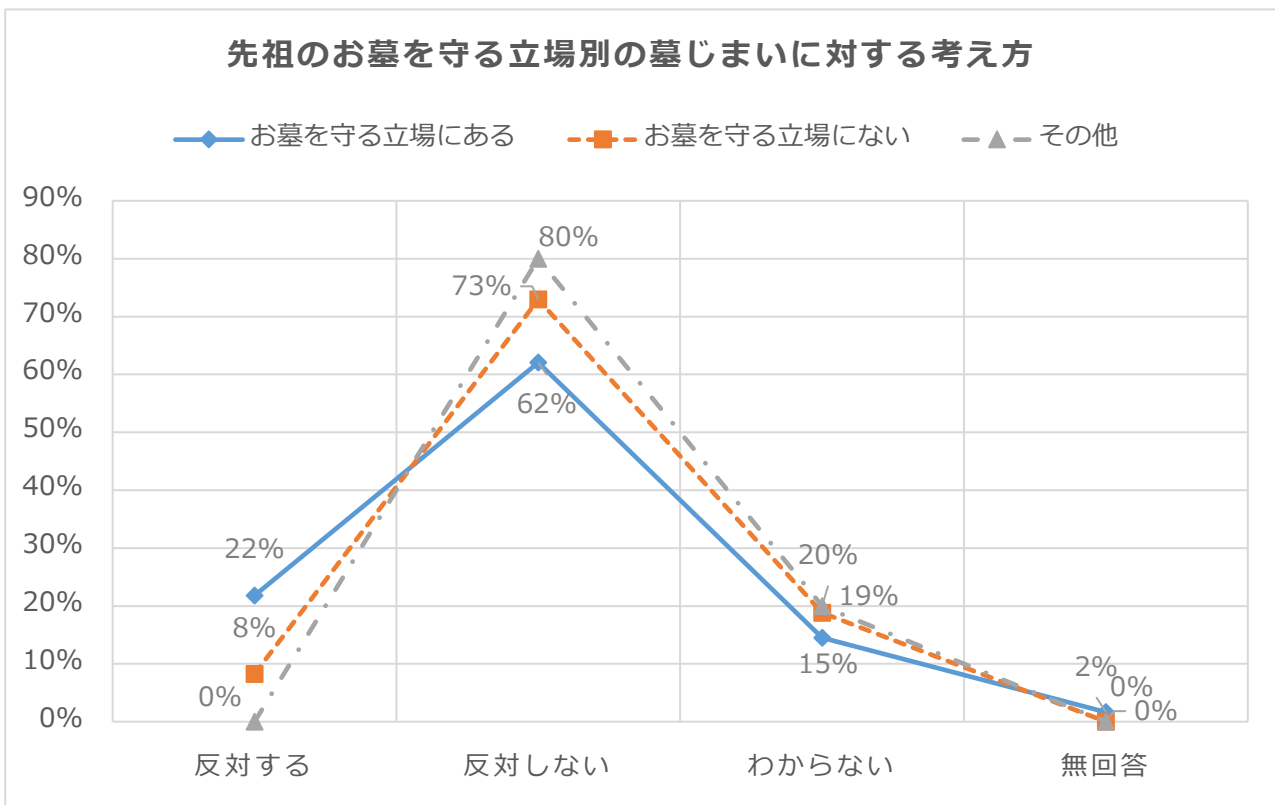
問8 家族が遺骨を永代供養するため、「墓じまいをする」と言った場合、反対しますか。

※永代供養：遺族や子孫に代わって、寺院などが遺骨を管理・供養すること。

項目	人数
反対する	73
反対しない	254
わからない	61
無回答	5
総計	393



家族が墓じまいをするに、「反対しない」と答えた人は65%で、「反対する」と答えた人19%を大きく上回った。



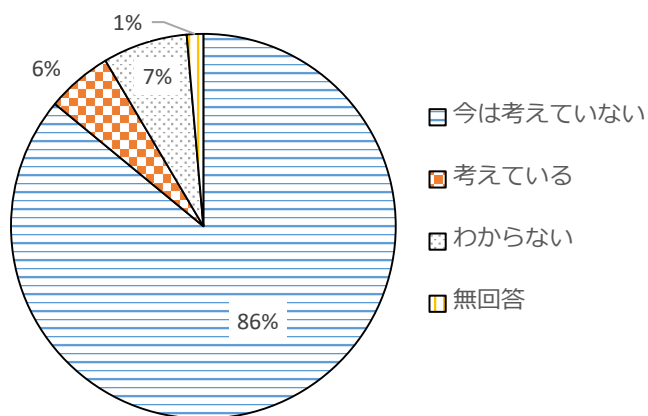
先祖のお墓を守る立場にある・ないに関わらず、「墓じまいに反対しない」と答えた人の割合が最も高くなっている。

また、先祖のお墓を守る立場にある人は、ない人に比べて、「墓じまいに反対する」と答えた人の割合が高くなっている。

ウ 新たなお墓の取得の意向と理由等

問9 新たにお墓を取得するお考えはありますか。

項目	人数
今は考えていない	435
考えている	28
わからない	36
無回答	7
総計	506

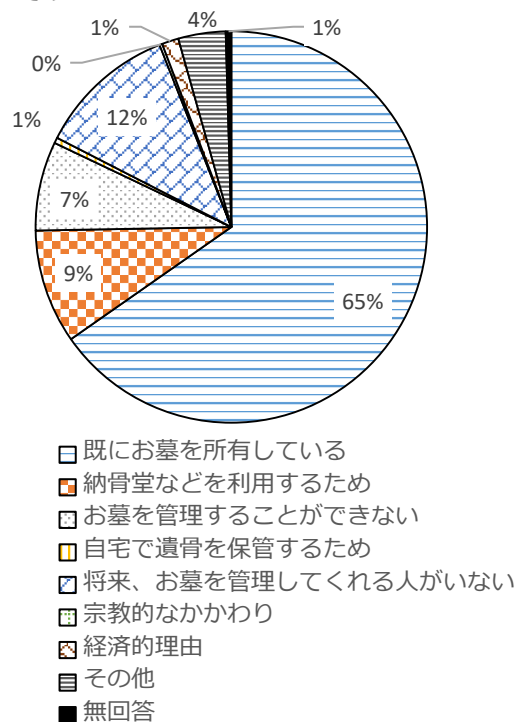


新たにお墓を取得することに、「今は考えていない」と答えた人が86%で最も多く、「考えている」と答えた人は6%であった。

※問9で「今は考えていない」と答えた方にお聞きしました。

問10 お墓の取得を考えていない最大の理由はなにかですか。

項目	人数
既にお墓を所有している	284
納骨堂などを利用するため	41
お墓を管理することができない	32
自宅で遺骨を保管するため	2
将来、お墓を管理してくれる人がいない	50
宗教的なかかわり	1
経済的理由	6
その他	17
無回答	2
総計	435



「その他」の主な回答

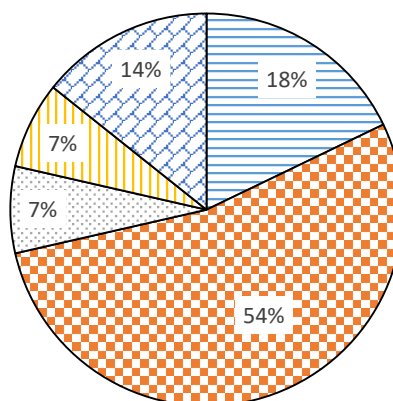
- ・ 家族等と話し合ったことがない。(3人)
- ・ 今は考えていない。(5人)
- ・ 子供たちに負担をかけたくない。(1人)
- ・ お墓は建てていないが、墓地は持っている。(1人)
- ・ 自分が亡くなった後のことは子供に任せる。(1人)
- ・ 散骨を希望する。(1人)

「既にお墓を所有している」と答えた人が65%と半数以上を占めている。また、お墓の管理が理由で取得を考えていない人は、「お墓を管理することができない」、「将来、お墓を管理してくれる人がいない」を合わせて19%となっている。

※問11～問12までは、問9で「取得を考えている」と答えた方にお聞きしました。

問11 お墓の取得を考えている最大の理由はなにですか。

項目	人数
遺骨があるが、お墓がないため	5
遺骨はないが、将来のために取得したい	15
他都市にあるお墓を高松市に移したい	2
現在所有している墓地に不満があるため	2
その他	4
総計	28



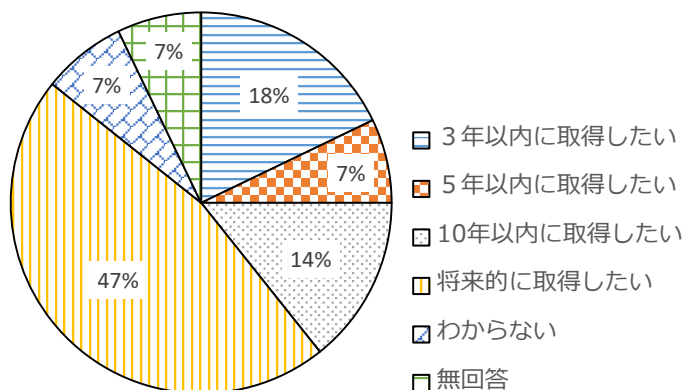
「その他」 具体回答なし

- 遺骨があるが、お墓がないため
- 遺骨はないが、将来のために取得したい
- 他都市にあるお墓を高松市に移したい
- 現在所有している墓地に不満があるため
- その他

お墓の取得を考えている理由のうち、「遺骨はないが、将来のために取得したい」が54%で最も多く、次に「遺骨があるが、お墓がないため」が18%となっている。

問12 お墓取得をお考えの場合、その時期はいつごろですか。

項目	人数
3年以内に取得したい	5
5年以内に取得したい	2
10年以内に取得したい	4
将来的に取得したい	13
わからない	2
無回答	2
総計	28



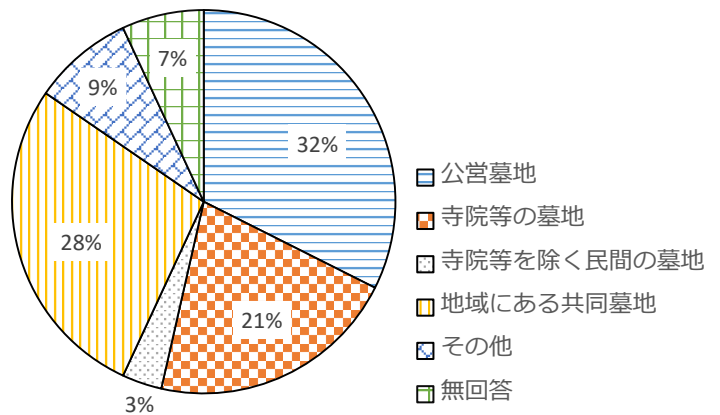
お墓を取得する時期は、「将来的に取得したい」と回答した人が47%で最も多い。また、具体的な年数を示した人のうち多かったのは、「3年以内に取得したい」で18%となっている。

工 希望する墓地の経営主体、重視する項目、墓所までの距離・墓所面積

※問13以降は、お墓の取得を考えていない方も含め、すべての方にお聞きしました。

問13 今後、お墓を取得することとなった場合、どのようなところを希望しますか。

項目	人数
公営墓地	164
寺院等の墓地	107
寺院等を除く民間の墓地	17
地域にある共同墓地	140
その他	43
無回答	35
総計	506



「その他」の主な回答

- ・ わからない。(10人)
- ・ 散骨ができるところ。(4人)
- ・ 納骨堂など永代供養してくるところ。(1人)
- ・ 家族が負担にならないところ。(1人)
- ・ 都会のようにマンションで管理するなど、ハイテクにならないか。(1人)
- ・ 希望しない。(8人)
- ・ 距離が近いところ。(3人)
- ・ どこでもよい。(3人)

新たに墓地を取得する場合の希望する墓地は、「公営墓地」が最も多く32%となっている。次に「地域にある共同墓地」が28%、「寺院等の墓地」が21%となっている。

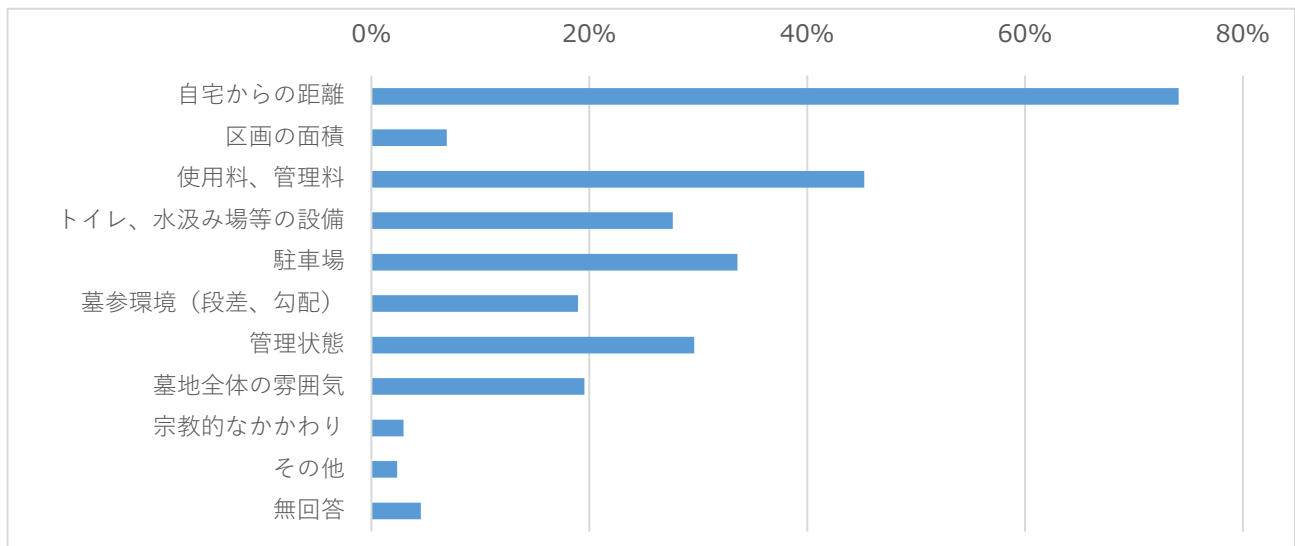
また、その他意見として、「自宅等からの距離が近いところ」や「こだわらない」などの少数意見もあった。

問14 お墓を取得するとすれば、特に重視される点はなにですか。(複数回答可)

項目	人数	割合
自宅からの距離	375	74%
区画の面積	35	7%
使用料、管理料	229	45%
トイレ、水汲み場等の設備	140	28%
駐車場	170	34%
墓参環境(段差、勾配)	96	19%
管理状態	150	30%
墓地全体の雰囲気	99	20%
宗教的なかわり	15	3%
その他	12	2%
無回答	23	5%
総計	1,344	

「その他」の主な回答
 ・考えたことがない。(1人)
 ・供養物の後じまいをしてくれる。(1人)
 ・昔からの馴染み。(1人)

回答者数(無回答含む) 506人

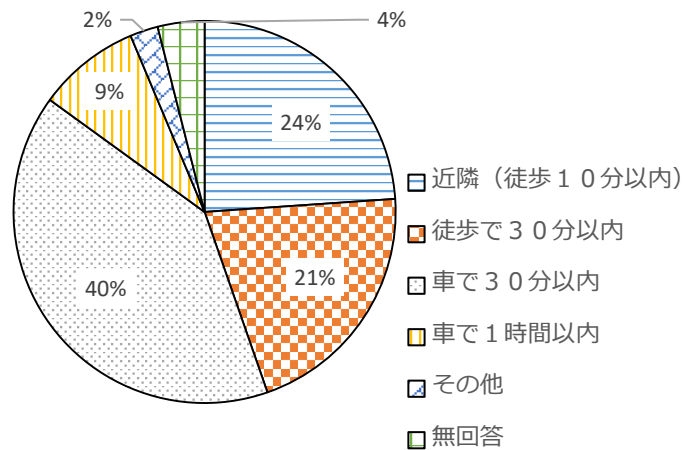


墓地を選択する際に、最も重視するのは「自宅からの距離」が74%で、次に「使用料、管理料」が45%、「駐車場」が34%、「管理状態」が30%となっている。

一方、「区画の面積」が7%、「宗教的なかわり」が3%と、重視する人は少ない。

問 1 5 自宅からお墓までの距離はどのくらいが適当と考えますか。

項 目	人 数
近隣（徒歩10分以内）	121
徒歩で30分以内	105
車で30分以内	204
車で1時間以内	44
その他	12
無回答	20
総計	506



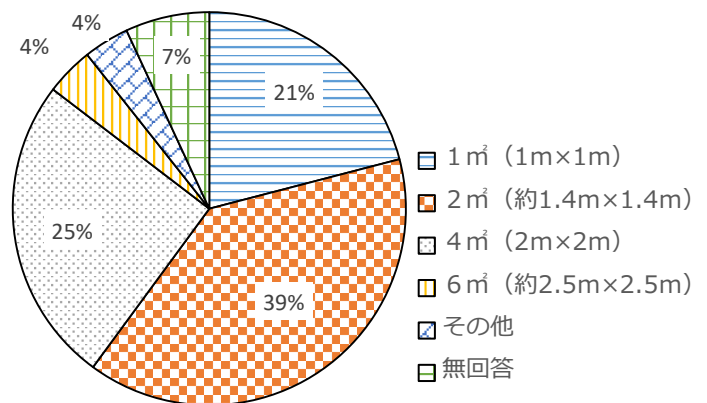
「その他」の主な回答

- ・考えたことがない。(3人)
- ・特にこだわらない。(2人)
- ・公共交通機関を利用できるところ。(1人)
- ・車で10分程度。(1人)

お墓までの距離で、最も多いのが「車で30分以内」で40%、次に「近隣（徒歩で10分以内）」が24%、「徒歩で30分以内」が21%となっており、この3つを合わせると、全体の85%を占める。

問 1 6 お墓1区画の広さはどのくらいが適当と考えますか。

項 目	人 数
1㎡ (1m×1m)	106
2㎡ (約1.4m×1.4m)	198
4㎡ (2m×2m)	128
6㎡ (約2.5m×2.5m)	20
その他	19
無回答	35
総計	506



「その他」の主な回答

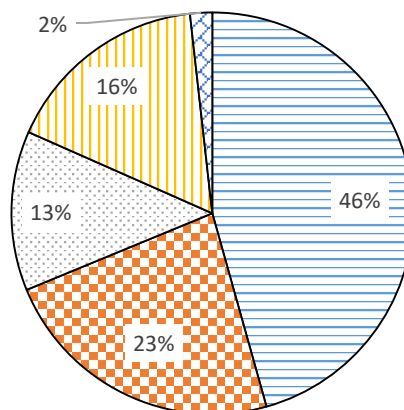
- ・1坪程度(2人) ・2坪程度(3人) ・3坪程度(1人)
- ・3㎡(1人) ・10㎡(1人)
- ・考えたことがない、わからない(3人)

お墓1区画の広さは、「2㎡」が39%で最も多く、次に「4㎡」が25%、「1㎡」が21%となっており、「4㎡」以内と答えた人が全体の85%を占める。

オ 将来的な承継、お墓の使用範囲、今後の墓地の在り方

問17 将来、お墓を守ってくれる人はいますか。

項目	人数
子どもか親類が守ってくれると思う	231
子ども等はあるが、守ってくれるとは思わない	117
子ども等がないため、守っていくことは困難である	65
わからない	84
無回答	9
総計	506

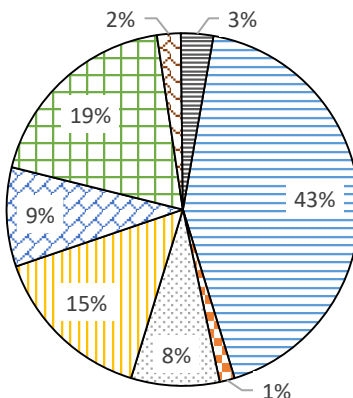


- 子どもか親類が守ってくれると思う
- 子ども等はあるが、守ってくれるとは思わない
- 子ども等がないため、守っていくことは困難である
- わからない
- 無回答

将来、子どもか親類がお墓を守ってくれると答えた人は46%であるが、「子ども等はあるが、守ってくれるとは思わない」が23%、「子ども等がないため、守っていくことは困難である」が13%、「わからない」が16%と、将来的にお墓の管理に不安を抱いている人が52%を占める。

問18 お墓はどの範囲で使用すればよいと思いますか。

項目	人数
先祖代々がよい	215
一人がよい	7
夫婦だけがよい	41
親子3代くらいがよい	76
家族にこだわらなくてよい	46
わからない	95
その他	11
無回答	15
総計	506



- 先祖代々がよい
- 一人がよい
- 夫婦だけがよい
- 親子3代くらいがよい
- 家族にこだわらなくてよい
- わからない
- その他
- 無回答

「その他」の主な回答

- ・各家庭に合った範囲で使用すればよい。(1人)
- ・墓は不要である。(2人)

「先祖代々がよい」が43%で最も多く、「親子3代くらいがよい」が15%、「夫婦だけがよい」が8%となっており、家族・血縁関係の合計は66%であった。

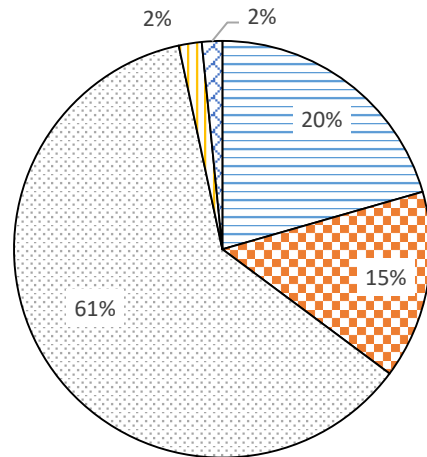
一方、「家族にこだわらなくてよい」、「ひとりがよい」と答えた人は合わせて10%であった。

また、「わからない」と答えた人は19%であった。

問19 少子・超高齢化が進展する中、墓地の在り方は今後どのようなようになっていく（どのようなになればよい）とお考えですか。

※合葬式のお墓とは、個人や家族でなく、多数の方の遺骨を隔てなく納骨する共同のお墓。

項目	人数
先祖を敬う気持ちを大切にし、今のまま継続させていくのがよい。	104
お墓の維持管理がいらぬ合葬式のお墓が主流となる。	74
各家庭の状況に応じて選択すればよい。	311
その他	9
無回答	8
総計	506

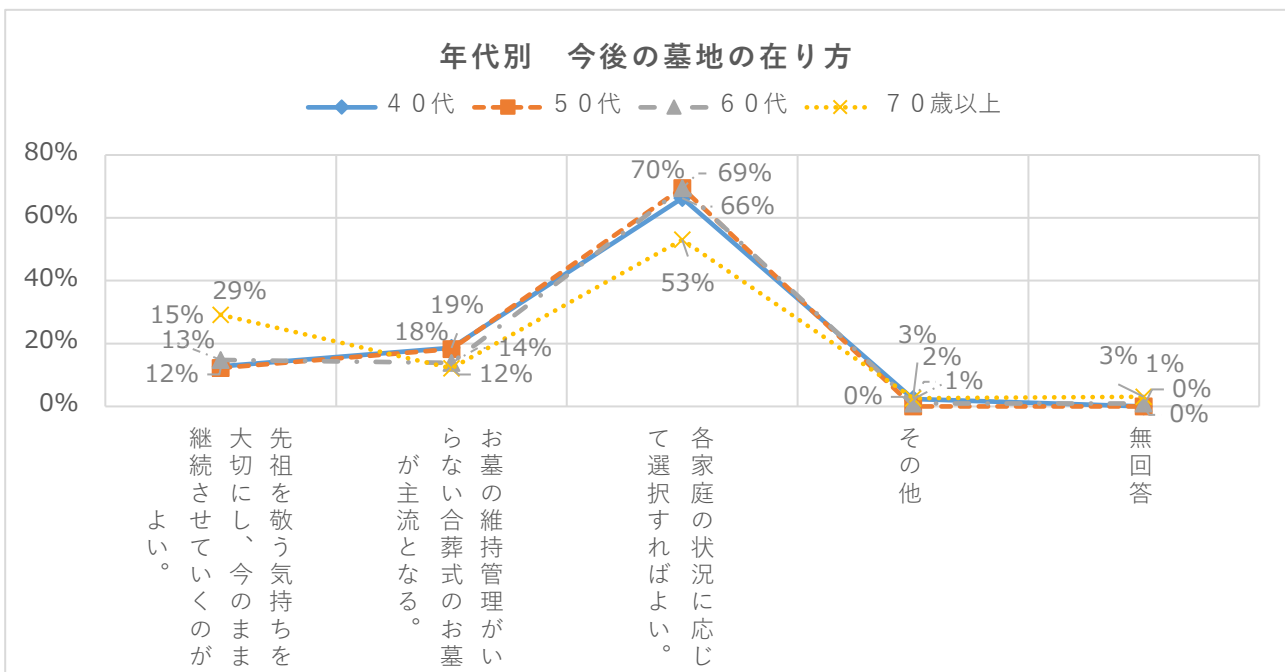


「その他」の主な回答

- ・先祖を敬う気持ちは大切だと思う。
- ・現在のお墓の形にこだわらなくてもよいと思う。(1人)
- ・今まで自分がお墓を管理してきたが、後世の者に管理してほしいと考えるのは難しい。(1人)
- ・納骨堂、永代供養。(2人)

- 先祖を敬う気持ちを大切にし、今のまま継続させていくのがよい。
- お墓の維持管理がいらぬ合葬式のお墓が主流となる。
- 各家庭の状況に応じて選択すればよい。
- その他
- 無回答

今後の墓地の在り方については、「各家庭の状況に応じて選択すればよい。」が61%と最も多く、次に「先祖を敬う気持ちを大切にし、今のまま継続させていくのがよい。」が20%、「お墓の維持管理がいらぬ合葬式のお墓が主流となる。」が15%となっている。



今後の墓地の在り方については、どの年代も「各家庭の状況に応じて選択すればよい。」が最も多くなっている。また、「先祖を敬う気持ちを大切にし、今のまま継続させていくのがよい。」と答えた人の割合は70歳以上が最も大きくなっており、「お墓の維持管理がいらぬ合葬式のお墓が主流となる。」と答えた人の割合は、70歳以上が最も小さくなっている。

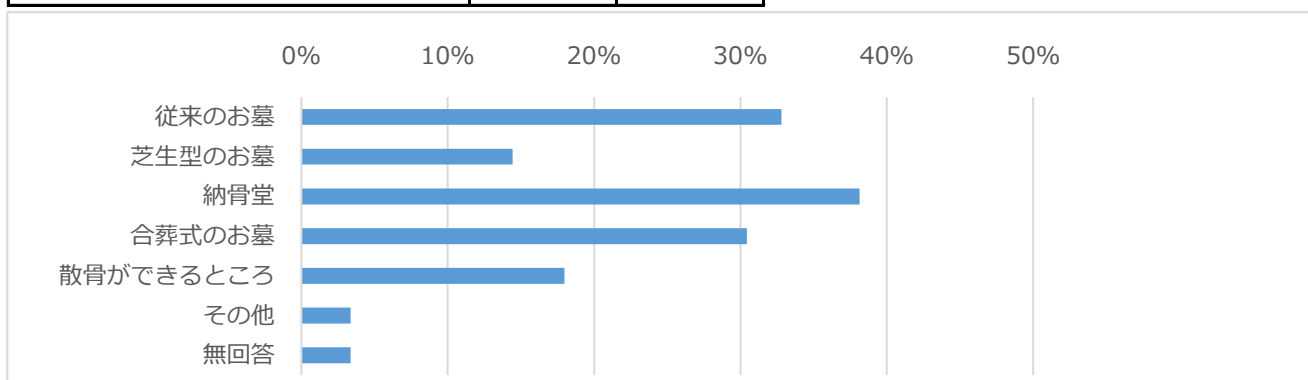
カ 今後、市営墓地に望む墓地の形態、整備

問20 高松市は、今後どのような形態の墓地等を整備すればよいと思いますか。（複数回答可）

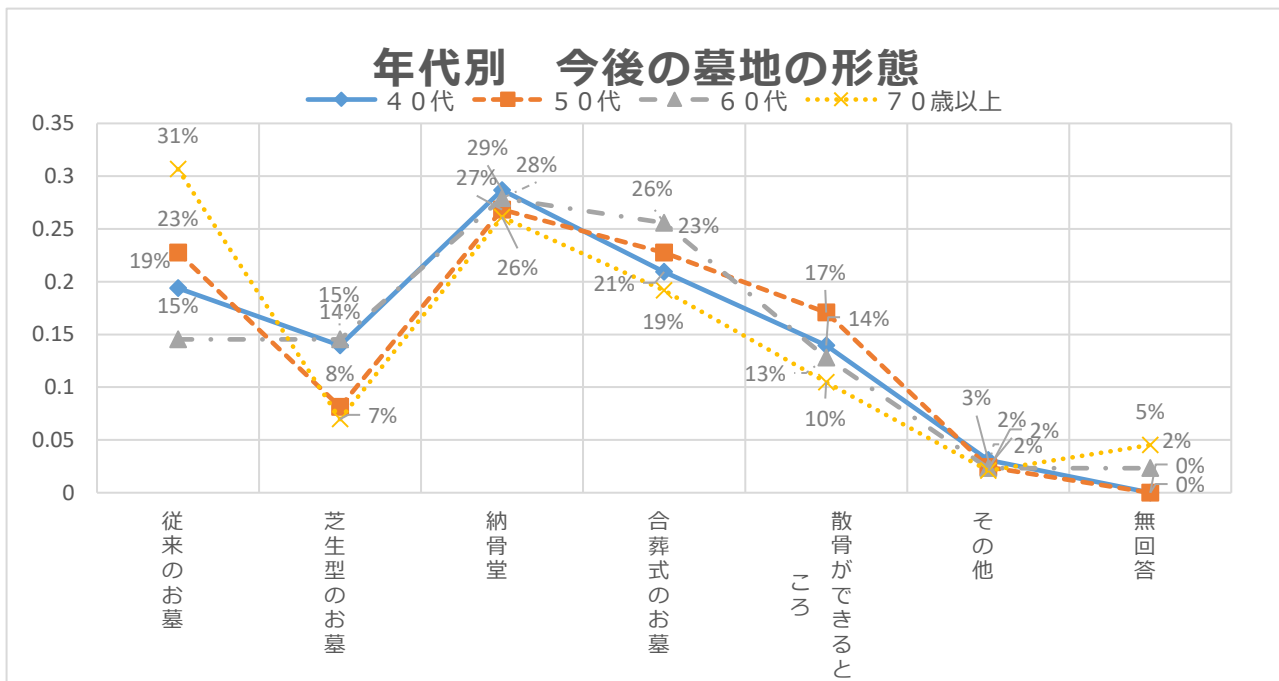
項目	人数	割合
従来のお墓	166	33%
芝生型のお墓	73	14%
納骨堂	193	38%
合葬式のお墓	154	30%
散骨ができるところ	91	18%
その他	17	3%
無回答	17	3%
総計	711	

- 「その他」の主な回答
- ・管理が行き届いた明るい墓地。(1人)
 - ・単身者が利用できるお墓。(1人)
 - ・今の時代では答えが出ない。(1人)
 - ・希望しない。(2人)

回答者数（無回答含む）506人



「納骨堂」を希望する人が38%で最も多く、次に「従来のお墓」が33%、「合葬式のお墓」が30%、「散骨ができるところ」が18%となっている。「従来のお墓」を希望する人は一定数いるものの、「納骨堂」や「合葬式のお墓」など、管理を必要としないお墓を希望する人も多い。



40代、50代、60代は「納骨堂」を希望する人が最も多く、70歳以上は「従来のお墓」を希望する人が最も多いが、年代別の差はあまりない。

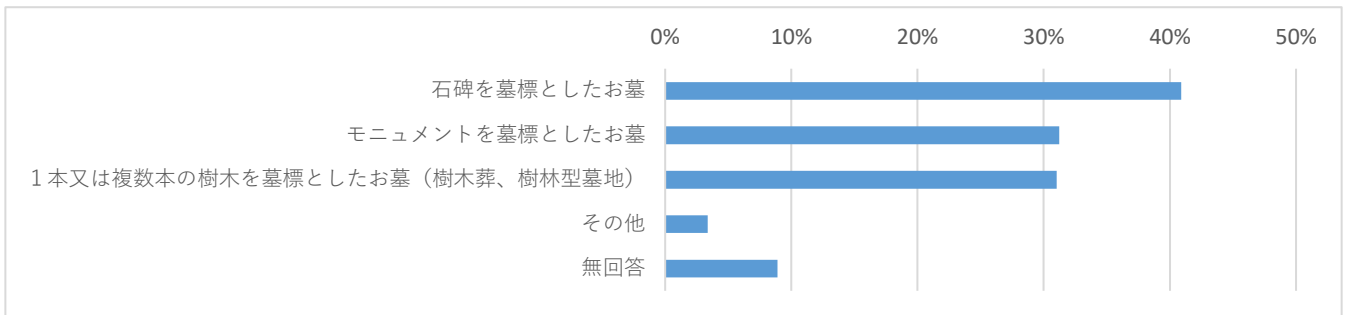
問 2 1 合葬式のお墓を整備する場合、どのようなタイプのものがよいと思いますか。

項目	人数	割合
石碑を墓標としたお墓	207	41%
モニュメントを墓標としたお墓	158	31%
1本又は複数本の樹木を墓標としたお墓（樹木葬、樹林型墓地）	157	31%
その他	17	3%
無回答	45	9%
総計	584	

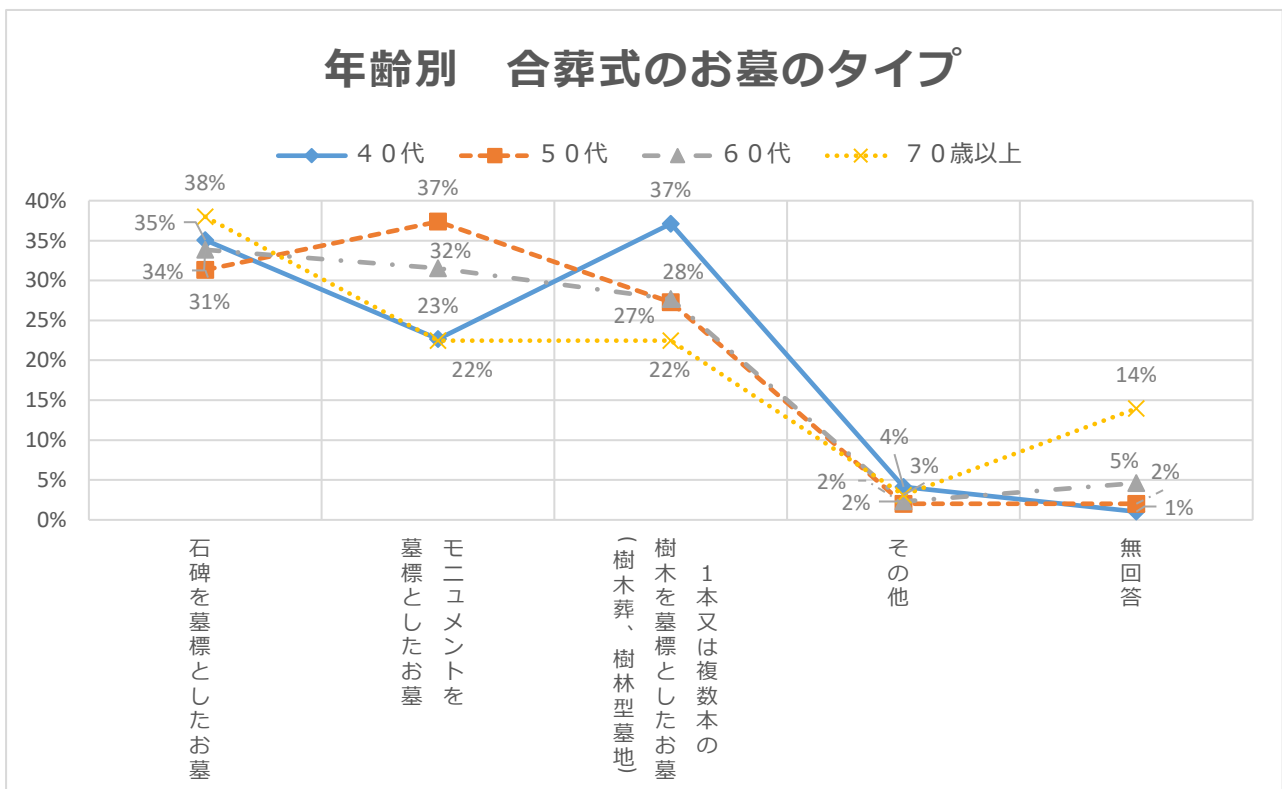
(複数回答可)

- 「その他」の主な回答
- ・合葬式の墓地をよく思っていない。(3人)
 - ・他人と一緒にはいやである。(1人)
 - ・特に形態にはこだわらない。(1人)
 - ・どれでもよい。(1人)
 - ・仕切りや通路を設けない。(1人)

回答者数（無回答含む）506人



「石碑」を墓標としたお墓が41%で最も多く、次に「モニュメント」と「樹木」を墓標としたお墓が31%となっているが、大きな差はない。また、無回答者が9%で比較的多かった。



40代は「樹木」、50代は「モニュメント」、60代・70歳以上は「石碑」を墓標としたお墓の希望が多く、年代によって選ぶタイプは異なっている。また、70歳以上では無回答の割合が高くなっている。

キ 自由意見

問22 その他、墓地などに関する主な御意見等

1 後継者に関する意見

- ・お墓を守ってくれる人がいないので、墓じまいをして寺院の納骨堂に納めた。
- ・お墓を継ぐ人がいないので、墓じまいをして、現在、寺院で永代供養をしてもらっている。
- ・後に残る人の負担にならない形になればと思う。
- ・子供にはお墓を作ってほしくないと伝えている。
- ・少子高齢化で子孫が途絶えることが、目に見えて分かってきている。子供にお墓の負担、責任をかけたくない。お墓にこだわる意味が解らない。「生きた証」だけなら必要がない。
- ・近年、墓じまいが増えている。墓地は20年くらい前に購入しているが、時代が急速に変わり、子供もいないので守る人がいない。建てるかどうか考えている。
- ・後のことは家族に任す。
- ・少子高齢化の世の中、お墓を守っていくことは、後世にとって大変重圧となると思う。また、お寺が廃業する時代も早々にやって来るのではないかと思う。
- ・子供は県外に出たら帰ってこない場合が多いので、誰もが気軽に手を合わすことができるお墓があればよい。
- ・土地に縛られず、自由に移動する若者たちにとっては、移動できない墓地は負担でしかない。その中には先祖代々の墓地を守る人たちもいることから、墓地の選択肢を増やすことが必要になるだろう。
- ・単身者の増加が見込まれるため、その対応策をしっかりと整備してほしい。
- ・実家では10年ほど前にお墓を守る者がいなくなり、4基のお墓を墓じまいして、お寺に永代供養した。少子化、職業選択の多様化等で、個人でお墓を維持するのが難しくなっている。
- ・子供もいないので、死んだら海にでも散骨してほしい。
- ・50代、独身のため、自身の遺骨は海に散骨して欲しいと思っている。

2 墓地の設備・管理に関する意見

- ・難しいと思うが、宮脇町周辺の市営墓地に駐車場を整備してほしい。
- ・墓地内に雑草が生い茂り、卒塔婆が数年捨てられたまま放置されていたりと、管理者側が見回りしていないのが伺える。管理費を徴収しているのであれば、責任を果たしてほしい。
- ・宮脇町の市営墓地にお墓があるが、通路等の環境整備をしてほしい。
- ・トイレをきれいにしてほしい。
- ・市営墓地の水汲み場に設置しているバケツに穴が開いているので、対応してほしい。また、墓地内の通路の草むしりをしてほしい。
- ・今後とも、市営墓地の管理・見回り等をお願いしたい。
- ・車でのお墓参りが主流であるため、公営墓地の駐車場の拡張が必要と思う。
- ・お墓が複数あり、持って行くお花の数が多いため、駐車場施設は絶対必要である。
- ・昔は墓地内の通路や植木の中の草抜きをしてくれていたと思うが、最近では草が茂っていたりする。特に参拝できていないお墓は、墓石の高さほど草が伸びていて、とても悲しい気分になる。また、駐車場の段差により、車体の底部を傷つけたとの話を聞いたので、改善してほしい。
- ・墓地の規模に応じて、管理事務所、トイレ、水汲み場、休憩所等の充実を図る必要がある。焼却設備も施設毎に必要と思う。
- ・高齢化が進展しているので、駐車場があり、車いすも使用できる段差のない墓地を整備してほしい。
- ・古いお墓や管理者不明のお墓の整理がしやすいよう、一定期間が経過すれば適切に処分できるよう、あらかじめ条件を付しておくのが望ましい。
- ・現在の市営墓地は、居住地の近くながら人が住めないところ（川沿い、山の斜面等）にあった墓地を市営化したもので、特に姥ヶ池周辺は交通アクセスも悪い上、急な斜面により高齢者は参拝が非常に困難であるため、駐車場等の整備をしていく必要がある。
- ・高松市が計画的に整備するのが望ましいが、地域の意見も重要である。また場所の問題もある。
- ・管理されていない、ひどい状態の墓地も多いので、増やすのは止めた方がよい。自然を壊し続ける時代はもう終わったと思う。

3 合葬式・納骨堂・永代供養に関する意見

- ・少子化が進む社会では、先祖代々墓は難しくなるのではないか。各家庭で考えることであるが、市としては合葬式も考えざるを得ないと思う。
- ・高松市が納骨堂を管理するのは難しいと思う。
- ・合葬式のお墓は理解できない。
- ・市営墓地の古くなったお墓を見るたびに、管理や区画の確保が大変だと思う。各地域に市営納骨堂があればいいと思う。
- ・これから人口が減るので納骨堂が一番良いと思う。高松市の支所単位くらいで納骨堂ができれば、皆気軽にお参りすることもでき、自分の親のことも大事に思うのではないか。
- ・平和公園合葬式墓地は施設としては気に入っているが、年1回でも合同供養をしてほしい。
- ・お墓は作るのも片付けるのもお金がかかるので、合葬式のお墓がいいと思う。息子たちには負担をかけたくない。
- ・共同の墓がよい。
- ・将来、個々の家族で墓を代々守ることは難しくなると思うので、公的な施設で永代供養してくれると安心である。
- ・実家の墓が宮脇町の市営墓地にあるが、距離も近いし、街や海が見えて気に入っている。新しく納骨堂や合葬式墓地を作るなら、この場所にしてほしい。また、ペット用の墓地もお願いしたい。
- ・今後、子供や孫がお墓を管理してくれるかどうか不安なので、お寺の納骨堂でもいいと思う。
- ・子供が県外に住んでいたり、お嫁に行って後継者がいない場合等は、管理に手が届かないと思うので、合葬式等のお墓が安心と思う。
- ・最近、寺院などが永代供養などをすすめているが、営業的で好きになれない。永代供養塔があった場所が改修されていたので、新しい大きいものに作り直すのかなと思ったら、寺院個人の立派な駐車場になっていたという例もある。
- ・瀬戸内海を見渡せる合葬式も良いと思います。
- ・市民の合同墓に入りたい場合は生前から手続きをしておけるようになればいいと思う。
- ・他の人に迷惑をかけない範囲で、いろんな形態のお墓があってもよい。
- ・合葬式のお墓では、どんどん先祖を敬うことが薄れていくと思う。
- ・少子・高齢化がどんどん進んでいるので、市民で1つの合同の墓を作ってほしい。
- ・お墓の場所と居住地が離れており、その処置に困っている。お墓そのものの存在意義も多様な時代になっていると感じている。

4 墓地の立地に関する意見

- ・交通アクセスのよい所に整備してほしい。
- ・瀬戸内国際芸術祭の一都市として、「アートな墓地」というものがあったとしてもよいのではないか。例えば姥ヶ池なら高い位置は山の上からアクセスする「海が見える合葬式墓地」、低い位置は整備して従来通りのお墓とするなど、殺風景ではない墓地があってもよいと思う。

5 新たな形態の墓地に関する意見

- ・色々な考え方があってよい。若者に負担をかけない。空や海、樹木葬の樹木を見て手を合わせる選択もあると思う。
- ・樹木型のお墓にして、明るい公園のようにすればよいと思う。墓地は特定の人しか訪れないので寂しいイメージだが、樹木型の公園のようにすれば、季節の折々でみんなが楽しみ集うことができるので、管理も楽しくできるのではないか。
- ・子供は県外なのでお墓の管理は難しくなると思うので、海へ散骨できたりや樹林、樹木型が良いと思います。
- ・昨今、墓じまいをよく聞くが、自分が世に生まれたのは、先祖がいたおかげなので、お墓という形でなくとも、御先祖様には会いたい。散歩や子供たちが遊べる公淵公園のようなところがよい。
- ・これからの子供たちは、墓を守ってくれないと思う。高松市は「すごい、新しい」、そういう形を考えてほしい。
- ・個人的には、お墓はなくとも仏壇だけでよいと思う。

6 墓じまいに関する意見

- ・先祖を敬う気持ちがあれば、今までのような先祖代々のお墓にこだわる必要はないと思う。親には墓じまいをしてほしいと思っている。
- ・先祖からのお墓を守って行くという事に不安や負担がある。個人ごとのお墓の方が、自由に気楽に墓参りができると思う。今、遠方にお墓があるので、私の代で墓じまいする予定である。

7 費用負担に関する意見

- ・最近子供が少ない又はいない家庭が増え、荒れたお墓も増えてくると思う。そのようなことを見込まれている方に対しては、市が墓じまいの費用を一部負担するなどの支援が有効であると思う。また、少しでも早くシュミレートしておくことで住みやすい街に繋がって行くと思う。
- ・管理料が安いところがよい。
- ・親子三代の遺骨を納骨堂に納めたいが、費用の問題がある。
- ・各個人の事情を尊重した形。税金を使わない形がよい。
- ・子供たちの迷惑にならないようにという思いがあり、家族とかにこだわらず、お金がかからない方法がよい。

8 地域の共同墓地に関する意見

- ・毎年、草刈りをしているが、今後は人が少なくなるのでいつまで続くかわからない。
- ・過去に地域の共同墓地を購入しようとしたが、地域外に住んでいるため、購入できなかった。
- ・現在の墓地に大きな木が生えているが、木の根で地面が持ち上り歩きにくい。墓地の役員の人に、木を切ってほしいと相談しても、祟りがあるとかで切ってもらえない。他の地域の共同墓地に空きがあれば、移りたいと思っている。
- ・地域の共同墓地はお世話役さんが高齢化し維持管理が困難化している。市当局は共同墓地が市営墓地と同等の役割を担っていることをしっかり認識し、積極的な支援を急ぐ必要がある。
- ・墓地の管理者が全く管理をせずゴミ等はそのままで処理していません。市が現状把握して指導してほしい。

9 その他の意見

- ・人口減少と過疎化により、墓地の管理ができなくなっているのが現状である。しばらく推移を見守ることが必要と考える。
- ・墓地は先祖を始め子孫のためにも大切な場所であるが、市営墓地なら安心してお参りができる。
- ・これからも先祖を敬う気持ちを忘れずに継続させていくことを願う。今後は子供たちがお墓を見ることができないなど様々な問題が出ると思う。各家庭で選択し、様々な形で供養できればと思う。市や県には、市民が先祖を大切に思うよう「なぜ墓参りをするのか。なぜ大切なのか。」をもっとアピールしてほしい。
- ・なぜお墓が必要なのか。なぜお墓が石なのか。お墓の意味を知らなさすぎ。合理性ばかりを追いかけ、心がなくなっている。子孫がいなくても先祖への祈りはなぜ必要なのか。見えない物への心配りの大切さなどを教える人もいないし、解ろうともしない。
- ・三木町にある墓園に行ったことがあるが、こんな素晴らしい墓園があるのかと驚いた。環境がよく、公園で遊ぶ気分でお墓まいりができた。
- ・まだお墓について考えたことがなかった。
- ・霊はお墓にあるとは思わないので不要だと思う。仏壇で魂を供養することでよいと思っている。
- ・既存の墓の維持管理は、所有者又は子孫、血縁者の自己責任（費用負担）であるべきだが、継続か墓じまいかの判断には、各家庭の状況等により、一律に決めることはできず、強制や法的措置も難しいだろう。行政が様々な選択肢を準備するのも財政的に困難なので、宗教団体、寺院等の協力を得て、現状に即した対応方法を検討すべきと考える。
- ・先祖を敬う気持ち、心を大切に、家族が集まり（笑顔、会話、相談など）、皆が幸せになるような社会であってほしい。そのためにも墓地などは必要と思う。
- ・今回のアンケート調査は、将来的に自分のお墓をどのようにしていくかを考えるよい機会になった。
- ・墓地はあるが、お墓はまだ建てていない。合葬墓という選択肢に気づかなかった。
- ・プライバシーの保護はしっかりとしてほしい。
- ・墓地を確保できる仕組みや斡旋してくれる会社とかがあればよい。

Ⅲ 資料 墓地に関する市民意識調査票

墓地に関する市民意識調査票

問1 あなたの性別はどちらですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------|------|----------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 答えたくない |
|------|------|----------|

問2 あなたの年齢はおいくつですか。(令和4年2月1日現在)(○は1つだけ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| 1 40代 | 2 50代 | 3 60代 | 4 70歳以上 |
|-------|-------|-------|---------|

問3 あなたは、先祖のお墓を守る立場にありますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------|-------|-----------|
| 1 はい | 2 いいえ | 3 その他 () |
|------|-------|-----------|

問4 あなた又は御家族が管理しているお墓(納骨堂は除く)はありますか。(○は1つだけ)

- | |
|------------|
| 1 ある ⇒ 問5へ |
| 2 ない ⇒ 問9へ |

・問5～8は、問4で「1 ある」とお答えの方にお聞きします。

問5 そのお墓はどのようにして求められたものですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 先祖・親類から引き継いだ | 2 自分又は配偶者が購入した |
| 3 その他 () | |

問6 そのお墓はどのような墓地にありますか。(○は複数可)

- | | | |
|-------------|----------|---------------|
| 1 公営墓地 | 2 寺院等の墓地 | 3 寺院等を除く民間の墓地 |
| 4 地域にある共同墓地 | 5 個人の墓地 | |
| 6 その他 () | | |

問7 あなたは普段どの程度お墓参りをしますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------|------------|-------------|
| 1 月に1回以上 | 2 3か月に1回程度 | 3 6か月に1回程度 |
| 4 年1回程度 | 5 数年に1回 | 6 ほとんどしていない |

問8 家族が遺骨を永代供養[※]にするため、「墓じまいをする」と言った場合、反対しますか。

※永代供養：遺族や子孫に代わって、寺院などが遺骨を管理・供養すること。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1 反対する | 2 反対しない | 3 わからない |
|--------|---------|---------|

・ すべての方にお聞きします。

問9 新たにお墓を取得するお考えはありますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|--------|
| 1 今は考えていない | ⇒ 問10へ |
| 2 考えている | ⇒ 問11へ |
| 3 わからない | ⇒ 問13へ |

・ 問9で「1 今は考えていない」とお答えの方にお聞きします。

問10 お墓の取得を考えていない最大の理由はなにですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|----------------------|----------------|---------|
| 1 既にお墓を所有している | 2 納骨堂などを利用するため | |
| 3 お墓を管理することができない | 4 自宅で遺骨を保管するため | |
| 5 将来、お墓を管理してくれる人がいない | 6 宗教的なかかわり | 7 経済的理由 |
| 8 その他 () | | |

⇒ 問13へ

・ 問11~12は、問9で「2 取得を考えている」とお答えの方にお聞きします。

問11 お墓の取得を考えている最大の理由はなにですか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 遺骨があるが、お墓がないため | 2 遺骨はないが、将来のために取得したい |
| 3 他都市にあるお墓を高松市に移したい | 4 現在所有している墓地に不満があるため |
| 5 その他 () | |

問12 お墓取得をお考えの場合、その時期はいつごろですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------------|--------------|---------------|
| 1 3年以内に取得したい | 2 5年以内に取得したい | 3 10年以内に取得したい |
| 4 将来的に取得したい | 5 わからない | |

・問 13 以降は、すべての方にお聞きします。(お墓の取得を考えていない方もお答えください。)

問 1 3 今後、お墓を取得することとなった場合、どのようなところを希望しますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|----------|---------------|
| 1 公営墓地 | 2 寺院等の墓地 | 3 寺院等を除く民間の墓地 |
| 4 地域にある共同墓地 | | |
| 5 その他 (| |) |

問 1 4 お墓を取得するとすれば、特に重視される点はなにですか。(○は複数可)

- | | | |
|----------------|------------|---------------|
| 1 自宅からの距離 | 2 区画の面積 | 3 使用料、管理料 |
| 4 トイレ、水汲み場等の設備 | 5 駐車場 | 6 墓参環境(段差、勾配) |
| 7 管理状態 | 8 墓地全体の雰囲気 | 9 宗教的なかわり |
| 10 その他 (| |) |

問 1 5 自宅からお墓までの距離はどのくらいが適当と考えますか。(○は1つだけ)

- | | |
|---------------|------------|
| 1 近隣(徒歩10分以内) | 2 徒歩で30分以内 |
| 3 車で30分以内 | 4 車で1時間以内 |
| 7 その他 (|) |

問 1 6 お墓1区画の広さはどのくらいが適当と考えますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1 1㎡(1m×1m) | 2 2㎡(約1.4m×1.4m) |
| 3 4㎡(2m×2m) | 4 6㎡(約2.5m×2.5m) |
| 5 その他(_____㎡もしくは _____坪程度) | |

問 1 7 将来、お墓を守ってくれる人はいますか。(○は1つだけ)

- | |
|---------------------------|
| 1 子どもか親類が守ってくれると思う |
| 2 子ども等はあるが、守ってくれるとは思わない |
| 3 子ども等がないため、守っていくことは困難である |
| 4 わからない |

問 1 8 お墓はどの範囲で使用すればよいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------------|----------------|-----------|
| 1 先祖代々がよい | 2 一人がよい | 3 夫婦だけがよい |
| 4 親子3代くらいがよい | 5 家族にこだわらなくてよい | |
| 6 わからない | | |
| 7 その他 (| |) |

問19 少子・超高齢化が進展する中、墓地の在り方は今後どのようなようになっていく（どのようになればよい）とお考えですか。（○は1つだけ）

- | |
|---------------------------------|
| 1 先祖を敬う気持ちを大切に、今のまま継続させていくのがよい。 |
| 2 お墓の維持管理がいない合葬式のお墓が主流となる。 |
| 3 各家庭の状況に応じて選択すればよい。 |
| 4 その他（) |

※合葬式のお墓とは、個人や家族でなく、多数の方の遺骨を隔てなく納骨する共同のお墓。

問20 高松市は、今後どのような形態の墓地等を整備すればよいと思いますか。（○は複数可）

- | | | |
|----------|------------|-------|
| 1 従来のお墓 | 2 芝生型のお墓 | 3 納骨堂 |
| 4 合葬式のお墓 | 5 散骨ができる場所 | |
| 6 その他（) | | |

別紙〈お墓のイメージについて〉を参照ください。

問21 合葬式のお墓を整備する場合、どのようなタイプのものがよいと思いますか。（○は複数可）

- | | |
|---------------------------------|------------------|
| 1 石碑を墓標としたお墓 | 2 モニュメントを墓標としたお墓 |
| 3 1本又は複数本の樹木を墓標としたお墓（樹木葬、樹林型墓地） | |
| 4 その他（) | |

問22 その他、墓地などに関して、御意見等がありましたら、自由に記入してください。

以上で質問は終わりです。御協力ありがとうございました。

記入もれがないか御確認の上、同封の返信用封筒(切手不要)にて 2月28日(月)までにポストに投函してください。